



式辞

卒業生のみなさんは、これまでの数年間、何かと制約を受けてきました。日本の教育史上例のない経験を余儀なくされた人たちです。その君たちが、こうして以前と同じように卒業式を行うことができますことを喜び合いたいと思います。

さて、今日の良き日に卒業する君たちにはなむけとして少しお話をします。

またかと言われそうですが、そう、セルフコントロールです。

やるべきことをやるべきときにやりきることは自分を律するからできることです。感情を乗り越え、様々な人たちと共に生きていくこともそうです。世の中がどのように変化しようともこの2つができれば心豊かで有意義な人生を歩むことができるはずです。

そして、誰かのためになれることを実行して下さい。困難は支え合い、喜びを分かち合う、そういう人間であって欲しいと強く思います。

それから、みなさんには「どうせ無理」とか「やるだけ無駄」という言葉を口にしないで欲しいのです。この言葉は自分の可能性を潰してしまいます。周りの人間の意欲も失わせることになりかねません。

確かに、頑張っても望んだ結果が得られないことはあります。でも、その頑張りは決して無駄ではありません。意味があります。成長の糧となります。

どうか、今お話ししたことを心に留めて、実行して下さい。思うだけではなくアクションを起こすことが大事です。心から願っています。

さて、最後になりましたが、保護者の皆様にはお子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。これまでの本校の教育にご理解とご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。

お子様が不安の中にも、しっかりとした足取りで今後の人生を歩んで行くことをご祈念申し上げます。式辞といたします。

令和6年3月10日

猿払村立拓心中学校 校長 藤田 淳